

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(9/11)

	総合 評価 (IとIIとIII を1:1:2の 割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組 の進捗	支援措置の活用と 地域独自の取組の 状況	取組全体に わたる事業 の進捗と政 策課題の解 決	
岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区 (岡山市)	3.4	3.5	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標はほぼ達成されており、計画が順調に進捗したことは評価できる。 ・デイサービスの質を分析し、利用者の状態像の維持改善に努める通所介護事業所にインセンティブを付与する制度の推進は、自立を促し、個人のwell-beingにも高齢社会の持続性にも貢献する成果である。現場からこのようなモデルが次々提案されることを期待する。 ・通所介護サービスの給付額の伸びについては、予め通所介護の伸びと介護保険料の伸びとの関係性を検討しておくことが望ましい。在宅要介護者の割合については、施設定員数の増減や入所待機者数の増減を併せて考慮しておく必要がある。次期計画において多面的な指標の改善に取り組んでいる点は評価できる。 ・介護機器貸与モデル事業や介護予防ポイント事業は、現場の状況を良く把握し、かつ、高齢者や障害者ならびに介護者の心理をも良く理解した事業展開であると評価できる。 ・介護機器については、最終的に機器開発に繋がるような支援も併せて行っていただきたい。 ・単独の都市自治体による取組としての制約が見られることから、中四国への波及を視野に入れている点を踏まえ、中四国の自治体との連携事業に発展することを期待したい。
		<p><u>進捗度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料の上昇率の抑制 100% ・在宅を可能とする最先端介護機器等の活用による産業振興 20% ・在宅高齢者の増加とQOLの向上 100% 	<p><u>規制の特例等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化総合特別区域介護機器貸与モデル事業及び介護予防ポイント事業 ・訪問看護・訪問介護事業者に対する駐車許可簡素化事業 <p>等</p> <p><u>地域独自の取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療スタート支援研修会 <p>等</p>		